

小児手術・集中治療部

1. スタッフ（平成27年4月1日現在）

部長（兼・教授）	竹内 護
小児集中治療部長（准教授）	多賀 直行
病棟医長（助教）	大塚 洋司
医員（学内准教授）	門崎 衛
（講師）	片岡 功一
（助教）	大塚 洋司
病院助教	永野 達也
	中村 文人
	岩井 英隆
シニアレジデント	2名

2. 小児手術・集中治療部の特徴

小児手術・集中治療部は、2006年9月とちぎ子ども医療センターの開院とともに開設され、手術部門と小児集中治療部門の両面を持つ中央診療部門である。

手術部門は、清浄度クラス1000の手術室とクラス10000の手術室各1室の計2室で構成され、現在、小児・先天性心臓血管外科、小児外科、小児泌尿器科および小児整形外科の手術が行われている。

小児集中治療部門は、栃木県および周辺医療圏の重症患者を収容し、関連診療科と連携して集中治療およびその看護を行い、回復を図ることを目的としている。小児集中治療室（PICU）は、感染症対応可能な個室ベッド2床を含む8床のユニットとして運用されている。本PICUの特色として、先天性心疾患の外科的治療を周術期管理の面から全面的に支援していることである。麻酔・集中治療医と小児・先天性心臓血管外科医、小児循環器医が密接に連携して、新生児から年長児まで幅広い年齢層の先天性心疾患患者の診療、周術期管理にあたっている。

また、先天性心疾患以外の外科的疾患患者の周術期管理や、内科的疾患を持つ重症患者の集中治療も、本館集中治療部および関連各専門科と密接に連携を取り、限られた病床数の中で効率よく安全に診療を提供できるように鋭意努力している。

・認定施設

日本麻酔科学会認定病院
心臓血管麻酔専門医認定施設
日本集中治療医学会専門医研修施設

・専門医等

（社）日本麻酔科学会指導医 竹内 護
多賀 直行

	門崎 衛
	大塚 洋司
（社）日本麻酔科学会専門医	永野 達也
	岩井 英隆
（社）日本麻酔科学会認定医	中村 文人
	他 2名
厚生労働省麻酔科標榜医	竹内 護
	多賀 直行
	門崎 衛
	他 6名
日本心臓血管麻酔学会専門医	多賀 直行
同（暫定）	竹内 護
	門崎 衛
日本集中治療医学会専門医	竹内 護
	多賀 直行
	大塚 洋司
	中村 文人
日本救急医学会専門医	永野 達也
日本小児科学会専門医	片岡 功一
	中村 文人
日本小児循環器学会指導医	片岡 功一
日本周術期経食道心エコー認定医	多賀 直行
	大塚 洋司
	岩井 英隆

3. 診療実績・クリニカルインディケータ

1) 手術・検査等全身麻酔数（2014/1/1-12/31）

小児・先天性心臓血管外科	133例
小児外科	366例
小児泌尿器科	190例
小児科検査等全身麻酔	31例
小児心臓カテーテル検査麻酔	59例
（経皮的心房中隔欠損閉鎖術14例含む）	
MRI検査麻酔	12例
合計	791例

2) PICU入室患者数（2014/1/1-12/31）

小児科	144例
小児・先天性心臓血管外科	84例
小児外科	46例
小児脳神経外科	13例
移植外科	19例
小児整形外科	5例
形成外科	17例

小児耳鼻咽喉科	1例
小児泌尿器科	9例
歯科口腔外科・他	3例
<hr/>	
合計	341例

3) 死亡症例

死亡症例 10例 (死亡率2.9%)

4) 病床利用率など (2014/1/1-12/31)

病床利用率	89.2%
病床稼働率	100.9%
平均在院日数	7.6日

4. 事業計画・来年の目標等

手術部門では、手術室外麻酔、特にMRI検査のための全身麻酔件数が増加している。経皮的心房中隔欠損閉鎖術の麻酔件数も増加しており、今後もより安全に手術室外麻酔を運用できるように最大限努力していきたい。

PICU部門では、重症度の高い患者の入室数が増加し、同時に全体の入室患者数も増加している。難易度が高く侵襲の大きい手術数も依然として多く、周術期管理とともに院内および院外より搬送された重症患者の治療に貢献できるよう今後も努力を続け、患者の安全と良質な医療の提供に努めたい。

対外的には、今年度より発足する小児集中治療連絡協議会への参加が決定しており、一昨年度より導入した重症度評価スコアリングシステムを利用して他施設との比較を行い、国内での当施設の治療レベルの客観的評価を行い、さらなる向上に結びつけたい。

また、小児での体外循環式血液浄化療法も、透析室などに移動できない重症患者での施行例が数例あり、より安全な血液浄化法施行に向けてスタッフの教育を充実させたい。今後も本館集中治療部と密接に連携をとり、高度な医療を安全に提供できるよう鋭意努力していきたい。

研究面では、PICUネットワークから発展した小児集中治療連絡協議会を通じて、多施設臨床研究への参加および、小児先天性心疾患に対する麻酔法の影響を調査する臨床研究が進行中である。これらの研究を通じて、職員の専門性・能力の向上、部局全体のレベルアップにつなげるようにしたい。